

1. 教育の責任

私は経営学部で主に簿記・会計の授業を担当しています。2025年度はキャリアデザインⅠ・Ⅱ、商業簿記Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、工業簿記、パソコン会計、実践演習(会計Ⅰ)、経営学の扉(オムニバス授業のうちの1コマ)、ゼミナールⅠ・Ⅱを担当しました。

- ・キャリアデザインⅠ：春学期、26人
- ・キャリアデザインⅡ：秋学期、26人
- ・商業簿記Ⅰ：春学期、278人（136人と142人の2クラスに分けてクラス運営）
- ・商業簿記Ⅱ：春学期、84人
- ・商業簿記Ⅲ：秋学期、61人
- ・工業簿記：秋学期、137人
- ・パソコン会計：秋学期、120人
- ・実践演習(会計Ⅰ)：秋学期、29人
- ・経営学の扉、企業経営を考える：春学期・秋学期、オムニバス授業のうちの1コマ
- ・ゼミナールⅠ：春学期、15名
- ・ゼミナールⅡ：秋学期、14名

企業が活動するためには、お金の知識が必要です。簿記・会計の学習は資格に直結しています。そこで、経営学の基礎知識の1つである簿記・会計を学ぶと同時に、目標をもって学習を進めてもらえるように資格取得も目指せるクラス運営をしています。

2. 教育の理念

4年間の学生生活はあっという間です。常に具体的な目標をもって計画的に学習し続ける習慣を身につけてほしいと思っています。

3. 教育の方法

簿記・会計を学習すると、企業のお金の動きを知ることができ、企業の仕組みを理解することができます。文章読解力、正確に業務を遂行する力、論理的思考力も養うことができ、資格取得にも直結しています。資格取得はあなたの自信につながり、自信は様々なことに挑戦する意欲につながると考えています。そこで、授業の中でも資格取得を推奨しています。「商業簿記Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「工業簿記」「パソコン会計」「実践演習(会計Ⅰ)」では毎回の授業の課題で理解度を確認し、質問を受け付けます。質問はクラス全体で共有し、一緒に考えます。履修生の理解度は様々です。そこで、授業を録画して復習用に公開したり、オンデマンド動画でも問題演習を行うなど、レベルや意欲に合わせた教材を用意しています。

4. 教育の成果

2025年度は「商業簿記Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「工業簿記」「ゼミナールⅠ・Ⅱ」で簿記検定の受検を推奨し、「実践演習(会計Ⅰ)」でコンピュータ会計検定の受検を推奨しました。多くの学生が資格取得に向けて行動し、挑戦してくれました。合否に関わらず、検定を目指して計画を立て、試験の当日まで諦めずに行動したことに価値があると考えます。合格した人は次の目標に向けて、残念ながら不合格だった人は再挑戦に向けて、常に学び続けることを習慣化してほしいです。

5. 改善への努力と今後の目標

簿記・会計をはじめ学ぶ学生のための授業では、簿記・会計の学習を楽しんでもらいたいです。そのために、専門用語を分かりやすく伝え、毎回の授業で「できた・わかった」と感じてもらえるようなクラス運営を目指します。一人でも多くの履修生に「検定試験にも挑戦してみよう」と思ってもらえるような学習環境づくりに取り組みたいと考えます。また、会計分野の入門科目を履修した学生に、さらに発展的な会計科目にも挑戦したいと思ってもらえるよう、会計の学びを継続してもらえよう、尽力したいです。

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：経営学部 名前：山崎 泉 作成日：2026年1月24日

【添付資料】

シラバス